

2026年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス 上場取引所 東
コード番号 9037 URL https://www.hamakyorex.co.jp
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大須賀 秀徳
問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理本部長 （氏名）竹内 義之 TEL 053(444)0054
兼経営企画室長
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績（2025年 4 月 1 日～2025年 9 月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期中間期	75,424	4.5	7,160	11.0	7,725	11.0	4,831	12.8
2025年 3 月期中間期	72,196	7.2	6,448	14.3	6,957	14.8	4,284	14.1

（注）包括利益 2026年 3 月期中間期 5,591百万円（17.4％） 2025年 3 月期中間期 4,762百万円（8.9％）

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年 3 月期中間期	65.28	-
2025年 3 月期中間期	57.35	-

（注）当社は、2024年10月 1 日付で普通株式 1 株につき 4 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 3 月期中間期	165,805	105,931	56.2
2025年 3 月期	159,446	101,896	56.2

（参考）自己資本 2026年 3 月期中間期 93,253百万円 2025年 3 月期 89,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	-	65.00	-	18.75	-
2026年 3 月期	-	18.75			
2026年 3 月期（予想）			-	20.00	38.75

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年 3 月期 1 株当たり期末配当金について

当社は、2024年10月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 4 株の割合で株式分割を行っております。

2025年 3 月期の第 2 四半期末配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。年間配当につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。

なお、当該株式分割を考慮した場合の2025年 3 月期の第 2 四半期末 1 株当たり配当金は16.25円、1 株当たり年間配当金は35円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 153,000	% 4.3	百万円 13,900	% 5.2	百万円 15,000	% 5.0	百万円 9,400	% 5.2	円 銭 126.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名)-、除外 -社 (社名)-

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	76,048,000株	2025年3月期	76,048,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,036,460株	2025年3月期	2,040,400株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	74,009,261株	2025年3月期中間期	74,694,028株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2025年3月中間期の「期中平均株式数(中間期)」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善政策の効果やインバウンド需要の高まりにより、緩やかに持ち直しの動きが見られるものの、資源や原材料の価格高騰による物価上昇や米国の通商政策の影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当中間連結会計期間は、営業収益754億24百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益71億60円(同11.0%増)、経常利益77億25百万円(同11.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益48億31百万円(同12.8%増)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当中間連結会計期間の営業収益は488億39百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は64億57百万円(同14.3%増)となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、M&Aによる効果があったこと等によるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、7社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた8社のうち7社が稼働しております。残り1社につきましては、第2四半期以降の稼働を目指して準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、191センターとなっております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当中間連結会計期間の営業収益は265億85百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は7億30百万円(同7.2%減)となりました。

増収の主な要因につきましては、運賃値上げ交渉による効果があったこと、M&Aによる効果があったこと等によるものであります。

営業利益の主な減益要因につきましては、外注費等のコスト増加による影響があったこと、M&Aによる取得手数料が発生したことによるものとなります。

今後につきましては、輸送物量の増加、管理強化による輸送コストの抑制に努めるとともに、近物レックス(株)において、事業開発の専門部署を立ち上げることで、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、収益性の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比63億59百万円増加し、1,658億5百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が増加したことで連結子会社の増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比23億24百万円増加し、598億74百万円となりました。これは主に、借入金の返済が進んだものの連結子会社の増加により流動負債及び固定負債が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比40億34百万円増加し、1,059億31百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益48億31百万円の計上と剰余金の配当による13億87百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と同じ56.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,530億円(前年同期比4.3%増)、営業利益139億円(同5.2%増)、経常利益150億円(同5.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益94億円(同5.2%増)を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間39百万円となります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,643	22,252
受取手形、売掛金及び契約資産	16,904	17,553
商品	2	10
貯蔵品	154	184
その他	5,096	4,030
貸倒引当金	△41	△43
流動資産合計	45,758	43,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,565	42,867
土地	52,746	55,520
その他(純額)	11,860	11,482
有形固定資産合計	103,171	109,870
無形固定資産	2,638	2,572
投資その他の資産	7,877	9,372
固定資産合計	113,687	121,816
資産合計	159,446	165,805
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,914	6,946
短期借入金	14,564	12,824
未払法人税等	2,568	2,712
賞与引当金	1,514	1,564
その他	9,096	9,310
流動負債合計	34,658	33,359
固定負債		
長期借入金	9,776	12,715
退職給付に係る負債	5,406	5,287
その他	7,708	8,512
固定負債合計	22,891	26,515
負債合計	57,549	59,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,484	6,485
利益剰余金	77,599	81,043
自己株式	△1,945	△1,942
株主資本合計	88,685	92,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	638	901
退職給付に係る調整累計額	235	217
その他の包括利益累計額合計	873	1,118
非支配株主持分	12,337	12,678
純資産合計	101,896	105,931
負債純資産合計	159,446	165,805

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月 30 日)
営業収益	72,196	75,424
営業原価	63,247	65,732
営業総利益	8,949	9,691
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	3
役員報酬	464	451
給料及び手当	572	603
賞与引当金繰入額	81	74
退職給付費用	22	15
その他	1,360	1,383
販売費及び一般管理費合計	2,500	2,531
営業利益	6,448	7,160
営業外収益		
受取利息	2	10
受取配当金	69	59
固定資産売却益	119	92
助成金収入	29	177
売電収入	221	227
雑収入	321	294
営業外収益合計	764	861
営業外費用		
支払利息	87	121
売電原価	109	108
雑損失	59	66
営業外費用合計	255	296
経常利益	6,957	7,725
特別利益		
負ののれん発生益	-	120
固定資産売却益	33	-
その他	-	12
特別利益合計	33	133
特別損失		
和解金	-	17
固定資産除売却損	-	47
特別損失合計	-	64
税金等調整前中間純利益	6,991	7,794
法人税、住民税及び事業税	2,200	2,431
法人税等調整額	34	22
法人税等合計	2,234	2,454
中間純利益	4,756	5,339
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	4,284	4,831
非支配株主に帰属する中間純利益	472	508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	277
退職給付に係る調整額	△0	△26
その他の包括利益合計	5	251
中間包括利益	4,762	5,591
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,296	5,076
非支配株主に係る中間包括利益	466	514

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	45,955	25,844	71,799	-	71,799
その他の収益	397	-	397	-	397
外部顧客への営業収益	46,352	25,844	72,196	-	72,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	194	998	1,192	△1,192	-
計	46,546	26,842	73,389	△1,192	72,196
セグメント利益	5,649	787	6,436	11	6,448

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益及び包括利益計算書計上額 (注) 2
	物流センター事業	貨物自動車運送事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	48,405	26,582	74,988	-	74,988
その他の収益	433	2	436	-	436
外部顧客への営業収益	48,839	26,585	75,424	-	75,424
セグメント間の内部売上高又は振替高	227	1,095	1,322	△1,322	-
計	49,066	27,680	76,746	△1,322	75,424
セグメント利益	6,457	730	7,187	△27	7,160

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、中間連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、石丸運輸株式会社及び株式会社バンスポートの株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては120百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。